

# 6月議会一般質問

## 国保税子どもの均等割廃止を

【砂田市議】 会社員や公務員などが加入する社会保険では扶養家族が増えても保険料は増えないが、国民健康保険には一人増える毎に国保税・均等割が約3万円（小矢部市の場合）増える。これを廃止して欲しいとの要求が市でも、全国でもひろがっている。

国はようやく未就学児に対して均等割を半額にするにすぎた。市長は「国、県に重点要望したからようやく国も動いた、もっと力強く押していきたい」と言っているが、言葉だけでは国、県はなかなか動かない。小矢部市が独自に先駆けて市の財源で均等割をなくすれば、他の市町村にも必ずひろがっていく。

共産党の県交渉で「市独自の制度については市町村の判断が尊重されるべきもの」と認めた。

小矢部市にとって、18歳までは760万円、未就学児では114万円負担すれば可能である。ぜひ全県を引っ張っていく役割を發揮していただきたい。

「予算編成のときにしっかりと議論させてもらおう」

桜井市長

【桜井市長】 小矢部市が先駆けてしっかりと取り組めというお気持ちは非常によく分かる。当然予算編成のときに、しっかりと議論をさせていただく。国、県に対して足並みをそろえて富山県市長会で要望もしてまいりたい。

## 子どものインフルエンザ予防接種 助成の継続・拡充を

【砂田市議】 子どものインフルエンザの予防接種助成の継続拡充を求める。共産党の県交渉で「市町村のご意見や有識者のご意見も伺いながら、小中学生の助成対象の拡充についても検討していきたい」と県は述べていた。小矢部市は県よりも一歩先に実施して、子育て中の若いお母さん方から大変喜ばれており、率先してやって欲しい。

## 核兵器禁止条約に日本政府も参加を 入善町議会、黒部市議会が意見書採決

### 小矢部市議会は「請願」に反対

県内6月議会で「核兵器禁止条約に日本政府も参加を」の意見書が入善町議会、黒部市議会で採択されました。一方、小矢部市議会はこれを求める1021名の署名を受けて行われた「請願」に賛成したのは砂田市議ただ一人で、他の議員たちは反対しました。

砂田市議の賛成討論は下のQRコードで15分後から見られます。



### 砂田市議の賛成討論 要旨

#### 軍拡競争より、国際法で対処を

① 核兵器は人道上許されない「悪の兵器」として国際条



40数年前フジテレビの小川宏モーニングショーで紹介された被爆者の詩「ひまわり」を掲げて賛成討論する砂田市議

約で禁止された。長崎で被爆された方の詩「ひまわり」を紹介する(写真)。

② 中国や北朝鮮の脅威に核抑止力が必要と言うが、米国元国務長官らが「何十万、何百万人の市民がいるところに核兵器を落とせるか。文明国の指導者だったらそんなことはできない。落とせないのだから抑止にならない」と批判している。

③ 中国や北朝鮮の脅威に対して、軍事的対応では戦争の危険を高める。国際法を守れと世界の世論で包囲していくところが必要である。中国は共産党を名乗っているが、その名に値しない。中国に国際法を守れと国際世論で迫ることこそ現実的な対応であり、そのためには戦争被爆国日本政府こそこの条約に参加すべきである。

【民生部長】 県は、20年度、生後6か月から小学校6年生までを対象に、1回の接種につき3千円を上限に助成を実施したが、今年度は、その対象年齢を生後6か月から未就学児までに引き下げた。市としても、引き続き県に制度の拡充を要望したい。本市では、今年度、小学生から中学生までについて、1回の接種につき2千円の助成を実施する。

## 特別教室にエアコン設置を

【砂田市議】 昨年設置した冷風扇は騒音がひどくて授業にならないなど、評判が悪い。理科室は火を使うので早くエアコンを設置しないと危ない。

【教育委員会事務局長】 20度末でエアコン整備済みが48教室、大型冷風扇は34教室である。本年4月臨時議会です算措置した2小学校、4中学校、計6つの音楽室には7月末を目途に完了する予定である(全音楽室に完備)。

市小中学校長会からは、理科室、ランチルーム、多目的教室などへの設置要望があり、整備時期について検討していきたい。



## 学校グラウンドの排水対策を

【砂田市議】 排水が悪く運動会で百メートルを直線で走れないことがあった。学校グラウンドの排水対策を求める。

【教育委員会事務局長】 学校グラウンドの排水整備については、現在、石動小学校、大谷小学校、津沢中学校の3校から整備の要望を聞いている。市総合計画への位置づけを行った上で、計画的な改修を検討していきたい。

